

令和4年度以降の京丹後市成人式の在り方について

1 民法の一部を改正する法律について

平成30年6月に成立した民法の一部を改正する法律の施行により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられます。

このため、現在20歳（年度中に20歳に達する人）を対象に開催している「京丹後市成人式」についても、式典の対象年齢や開催時期など、改める必要が生じたものです。

(1) 成年年齢引き下げの目的と変更点

18歳及び19歳の若者の「自己決定権を尊重する」とともに、「積極的な社会参加を促す」ことを目的として改正されるものです。

一人で有効な契約をすることができる年齢及び親権に服することがなくなる年齢がいずれも18歳に引き下げられる一方、飲酒・喫煙等の権利は20歳が維持されます。

(2) 変更の時期

令和4年4月1日の時点で18歳以上20歳未満の方（平成14年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれ）がその日に成年に達し、平成16年4月2日生まれ以降の方は18歳の誕生日に成年に達します。

(3) 国の動向

国は「成人式の時期や在り方等に関する分科会」（法務省）を開催し、令和2年3月に情報を取りまとめた報告書を公表しました。また、令和3年1月にフォローアップ調査を公表しています。なお、成人式の開催時期や開催方法などについては法律上の定めはなく、各地方公共団体の判断に委ねるとしています。

2 現行の「京丹後市成人式」について

(1) 開催目的

20歳になった（学齢方式）新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますために行うこととしています。

(2) 対象年齢 20歳（年度中に20歳に達する人）

(3) 時 期 3月第3日曜日

(4) 会 場 京都府丹後文化会館

3 京都府内の動向

方針を公表している自治体の全てが 20 歳での式典開催としています。名称については、「二十歳のつどい」として検討している自治体が多数あります。

※京都府内市町及び近隣市町の決定状況

市町名	対象年齢	名称
京都市	20 歳	はたちの集い
亀岡市	20 歳で検討中	検討中
南丹市	20 歳	南丹市二十歳のつどい
綾部市	20 歳	検討中
福知山市	20 歳で検討中	検討中
舞鶴市	20 歳	二十歳のつどい (仮称)
宮津市	20 歳で検討中	二十歳のつどい (仮称)
与謝野町	20 歳	検討中
伊根町	20 歳	二十歳のつどい (仮称)
豊岡市	20 歳	二十歳を祝う会 (仮称)

4 令和 4 年度以降の実施方法について

(1) アンケート結果

問. 民法改正に伴い、2022 年 4 月から成人年齢が 18 歳に引き下げられます。成人式の参加対象はどちらがよいと思いますか。

参加対象	件数	割合
① 18 歳	25	16%
② 20 歳 (これまで通り)	131	84%
計	156	100%

(令和 3 年京丹後市成人式アンケート結果より抜粋)

(2) 対象年齢

- ① これまで同様、20 歳 (年度中に 20 歳に達する人) を対象として実施する場合

◎メリット

- ・ 飲酒や喫煙などすべての年齢制限が解除される区切りの年齢に実施することで自立した大人としての自覚を促す機会となる。
- ・ 対象者が出席しやすい。
- ・ 地元の旧友と再会する機会になる。

○デメリット

- ・民法の成年年齢と一致しない。
- ・「成人式」の名称の変更が必要。

② 18歳（年度中に18歳に達する人）、を対象として実施する場合

◎メリット

- ・民法の成年年齢と一致し、大人として扱われることになる年齢で実施することにより、大人としての自覚を促すことができる。

○デメリット

- ・初年度は18歳、19歳、20歳と複数の年齢を対象にして開催する必要がある。大きな会場の確保、又は複数日程で実施する必要がある。
- ・受験や就職など進路が決定する極めて多忙な時期であるため、出席が難しい。
- ・3月に実施する場合には進学や就職準備と重なる。
- ・1月（成人の日）に実施する場合には受験と重なる。
- ・服装が制服での参加が増え、着物での参加が減少する恐れがある。

(3) 「京丹後市成人式」の名称変更

20歳を対象として実施する場合における名称について、他自治体では「二十歳のつどい」「二十歳を祝う会」で決定しています。

(4) 実施時期

現状、京都府において3月に成人式を行っている市町村は京丹後市と伊根町のみです。全国で見ても3月に行っている市町村は低い割合となっています。

○アンケート結果

問. 開催時期はいつがよいですか。

開催時期	件数	割合
① 1月（成人の日）	33	21.0%
② 3月（通常開催月）	120	76.4%
③ ゴールデンウィーク	1	0.6%
④ お正月	0	0%
⑤ お盆	0	0%
⑥ その他	3	1.9%
計	157	

(令和3年京丹後市成人式アンケート結果より抜粋)

昨年度の成人式で実施したアンケートでは3月実施を希望する方が多くなっています。

①3月に開催する場合

◎メリット

- ・大学進学率も高くなってきており、春休みの時期で参加しやすい。

○デメリット

- ・短大や専門学校では卒業式や就職の準備、引越し等で多忙な時期と重なってしまう。

②1月に開催する場合

◎メリット

- ・全国的に成人の日を実施する自治体が多く、混乱が少ない。

○デメリット

- ・1月は積雪の懸念があり、特に着物で参加される方には大変な場合がある
成人の送迎にも支障が出るとともに参加率の低迷が見込まれる。
- ・例年、消防出初式を1月初旬の日曜日に丹後文化会館で実施しており日程が重なる可能性がある。